(二)反對派は單に社會民主主義者の現總本部を一般的に否認して、單に無視し放置する態度をとつてはならない。このことは彼等の社會ファシスト的裏拳を默認し、彼等をして全農を破壞し、變質せしめる活動を各個的に赦したことゝなる。だが又單に一般的に「反總本部」「總本部打倒」の運動として反對聲明を發するに止つてはならない。現總本部の社會ファシスト的個々の具體的行動（除名解体命令爭議の裏切り等々）を把え、大衆の前にその正体を曝露し、除名解体取消要求、現常任解任除名の要求等を大衆の間から捲き起さなければならぬ。壓迫的大衆をして現常任の決定の取消、現總本部員の解任、除名要求を起させ、右翼下の大衆をもこの鬪爭に參加せしむるために努力せねはならぬ。

(三)左翼的縣聯合會に於て、聯合會全体が既に左翼支持であるからそれでよい、意見は統一されてゐる、と考へてそのまゝで放置してはならぬ。他の縣聯に對して下されてゐる社會ファシストの攻撃觀